

# 令和7年度 大町西小学校の教育

## 一人ひとりの輝きを認め合い、安心して自分を表現することのできる学校

### I 学校経営ビジョン

#### 1 教育理念 【一人ひとりの輝きを認め合う学校】

令和6年度、教育課程研究協議会社会科学の担当校として、6年生歴史の授業公開と研究発表を行いました。多数の先生方が参観する中、若干緊張しながらも、自然体で対話しながら、学びを深めていく姿を見ていただくことができました。また、毎年恒例の夏と冬に行われる「西小コンサート」では、ダンスや応援歌、楽器の演奏など、それぞれの輝きを全校の前で積極的に発表する姿があり、観衆からも大きな拍手が沸き起こりました。

—「わからないと言うこと」や「友だちと違うことをしたり考えたりすること」は恥ずかしいことである—と思わず

に、安心して自分を表現できる学習集団の中で、共感的に聴きあったり考えを修正したりすることで、一人ひとりの学びが深まっていくと考えます。よって本校では、学校づくりの理念に、「一人ひとりの輝きを認め合う学校」をおきます。

この理念の下では、教師自身の子どもの個に寄り添う姿勢が重要になってきます。子どもたちのありのままの姿を共感的に受け止め、思いを大事にしたり、児童理解を深め、適切な支援と個々のよさの位置・価値づけをしていこうという姿勢を示していることで、子どもたちと共に「一人ひとりの輝きを認め合い、安心して自分を表現し学び続ける」ことのできる学校づくりを進めていきたいと考えます。

#### 2 めざす学校像 【授業を根幹とする学校】

「明日も学校に行きたいな。」「先生や友だちと学ぶことが楽しみ。」子どもたちが学校生活をこのように感じることを目指し、一日の大半を過ごす授業時間の充実に力を注いでいきたいと考えています。

そのために、一人ひとりが主体的に、それぞれの輝きを認め合いながら学びを深めていく「協働の学び」を授業の基本とします。

これまでの取組により、本校では対話を基盤とした「協働の学び」が中高学年を中心に定着してきました。本年度も、自分の考えをもち、対話を通して考えを深め、自分にとってより良い考えを創り上げていく「協働の学びの場」を保障することによって、自分で課題を見つけ、友と協働しながら解決する力を育み、未知の状況においてもよりよく生きようと、学び続ける自律した子どもを育てていきたいと思えます。そのために、子どもの思いや願いに寄り添い、共に学んでいく姿勢を大切に子どもの学びを支援していきます。そして、困ったことやわからないことを、安心して友だちや先生に聞いたり相談したりすることのできる温かな雰囲気の上昇に努めていきます。また、教職員同士も、子どもたちとの関りにおける悩みや不安等を自然体で相談し合える職場づくりや、技量向上に向けた取組を行って参ります。

#### 「美しき歌声」

—毛涯 章平—

何げなく廊下にいずれば、彼方の音楽室より美しき歌声聞こゆ。「帰れソレントへ」の独唱なり。思わず聞きほれ、遠く拍手を送る。

その歌声のすばらしさもさることながら、それにも増して嬉しきは、その声を出さしめたる教室の雰囲気なり。各人が何事においても、照れずおこせず堂々と、もてる力を発揮できる雰囲気こそだいじなれ。その中にありてこそ、個々の伸び、全体も向上す。

学年も然り、学校もまた然り。心すべきことなり。  
「肩車にのって」